

選 手 注 意 事 項

1. 競技方法は2023年度日本陸上競技連盟規則に準じて実施する。
- 2.トラックは全てタイムレース、フィールドは2回試技でベスト8については更に2回試技できる。
小学生は3回試技とし、ベスト8は行わない。
3. 召集について（召集場所は北ゲート入口の外側付近とする）
点呼に遅れた者は棄権として出場を認めない。
小学生以下・・・中学生以上の方法と同様とし、引率者または保護者等が同行しても良い。
【トラック競技】
 - ①選手はトラック競技は競技開始25～15分前までに、フィールド競技は競技開始40～30分前まで、棒高跳は60～50分前までに競技者係で点呼を受け、選手控所で待機すること。
 - ②点呼は必ず本人が受け、アスリートピブスを競技者係に提示すること。代人は認めない。
 - ③腰ナンバーやレーンナンバーは競技者係で受け取り、ゴール後に自分で外し回収かごへ返却。【フィールド競技】
 - ④フィールド種目は全て現地点呼とする。（小学生も含む）
4. リレーのオーダー用紙は競技開始1時間前までに提出完了のこと。（用紙は点呼所にある。）
5. 競技者は招集場所から競技場所への移動の際は、指定の経路を通って入場すること。
6. 競技の服装は清潔をむねとし、陸上競技にふさわしく不体裁にならないようにすること。
7. トラック競技やフィールド競技の待機場所付近では、他の競技者と密集せず大声を出さない。
8. 競技用具は競技場備え付けのものを使用することを原則とする。ただし、棒高跳用のポールは私物を使用してもよい。この場合は必ず技術総務の点検を受けること。
9. 競技場には、当該選手・審判員以外は入場できない。スタート地点に戻る際は、本部席前を通らず、スタンド外側かバックストレート側を通ること。
10. スパイクのピンの長さは、トラック種目は9mm以下、フィールド種目は12mm以下とする。
ニードルピンは使用できない。
11. TR5.5、TR5.13.3より競技で使用する靴底の最大の厚さを下記の通り規制する。規定外の靴では競技には参加できない。（中学生以上）
 - ・400mまでは20mm以下
 - ・800m以上は25mm以下とする。
 - ・フィールド種目（三段跳除く）は20mm以下
 - ・三段跳は25mm以下※フィールド競技では靴の前の部分が踵の部分の厚さを超えてはならない。
12. 8位までに入賞した選手は、表彰は行わず、賞状をスタンド内エントランスホールにて種目毎に置いてあるので必ず持ち帰ること。
13. ウォーミングアップのためにバックストレートを開放する。但し、周回競技を実施中は開放しない。審判員の指示に従い使用すること。バトンを使用してのリレー練習は禁止。用器具は持ち込まない。
14. 結果の発表はアナウンス及び記録掲示板への張り出しで行う。全ての記録は大会終了後、十勝陸上競技協会ホームページに掲載する。
15. 全てのゴミは持ち帰ること。